

伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する
施設整備計画

平成26年12月

伊勢市
伊勢市教育委員会

目次

I	はじめに	．．．	2
II	公立施設のあり方について ～ 整備方針より抜粋	．．．	2
III	就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画		
1	計画の期間	．．．	3
2	各施設の整備計画	．．．	3
IV	おわりに	．．．	6
V	関係資料		
1	公立施設整備計画表	．．．	7
2	各施設の入園状況	．．．	8
3	各公立施設の耐用年等	．．．	9
4	伊勢市管内保育所、幼稚園、認定こども園位置図	．．．	10

I はじめに

就学前の子どもの教育・保育の整備を進めるため、伊勢市では前方針として「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する整備方針」を平成 19 年 8 月に策定し、同じく前計画として「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画」を平成 21 年 2 月に策定しました。前計画では第一次計画として平成 21 年度から平成 25 年度までの 5 カ年の計画を策定することにより、就学前の子どもの教育・保育における公立施設のあり方を示し、その整備に取り組むこととしました。

しかしながら、国において幼稚園・保育所に関する制度の抜本改革の検討が始まったことから、当市の方針・計画を当面凍結することとし、新たな制度を踏まえた方針・計画を改めて定めることとしました。

新たな整備方針の策定に先立っては、有識者や幼稚園・保育所関係者、保護者などにより構成する「伊勢市就学前の子どもの教育・保育に関する検討委員会」を設置し、伊勢市の子どもたちが、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことのできる教育・保育環境の実現を最重要課題として、伊勢市における就学前の教育・保育のあり方について検討を行い、平成 25 年 2 月に提言をいただきました。その提言を踏まえ、今年 2 月に新たな「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する整備方針」を策定しました。

現在、伊勢市には建築後 30 年以上経過した施設が公立幼稚園においては 3 施設、公立保育所においては 11 施設あり、施設の老朽化が進んでおります。また、近年における私立保育所の創設、あるいは私立幼稚園の認定こども園化などにより、前計画の策定時から市内の教育・保育施設の配置状況も変化しております。

先に策定をしました方針に基づき、就学前の子どもに対する望ましい教育・保育環境の整備を図ることを目的とした計画を新たに策定することで、公立の幼稚園及び保育所等の施設整備に関する将来構想を示し、今後の整備に取り組んでまいります。

II 公立施設のあり方について ～ 整備方針から抜粋

① 保・幼・小・中の連携を含む実践研究等の中核的な役割

公立施設においては、保幼小の連携等、実践的な研究をすることで、教育・保育の課題を明確にして、伊勢市独自の標準的なカリキュラムを明示するなど幼児教育の中核的な役割を担う。

② 特別支援教育の中心的役割

公立施設においては、特別支援教育に積極的に取り組み、支援が必要な幼児への適切な支援や、子どもの発育に不安や悩みを抱く保護者へのアドバイス等を行う。また、関係機関での研修や関係機関が開催する研修会等への積極的な参加に努め、特別支援教育に関する職員の資質向上・意識向上を目指す。知識や経験を持った人材の育成や配置を進めて保育の充実を図り、特別支援教育体制整備を推進する。

③ 多様な保育ニーズへの対応

園庭開放や子育て相談等の子育て支援に努め、未就園児も利用しやすい地域に根付いた施設を目指す。

各地域の実情に応じて、延長・休日保育や一時保育などの多様なニーズへ対応できる拠点的な施設が必要であり、私立施設との調整のもとで、公立施設はそれを積極的に担う。

④ 公立施設の整備・整理方針

少子化に伴い園児数が減少しており、「民間にできることは民間に」を基本に公立施設の整理統合を行う。整理統合にあたっては、人口分布、保育ニーズ、施設の態様、民間施設を含めた既存施設の配置状況等を勘案した上で、多様な保育サービスを提供する施設として整備することを基本に、市全体の適正配置を図ることとする。既存の公立施設のうち、子育て支援センターの併設や多機能化に対応できる施設を各地域における拠点として整備し、他の施設については、統合や民間への移譲等により整理する。

なお、教育の質を確保するという観点から、集団の最低人数（15人）を下回った幼稚園については整理する。

⑤ 施設の整備について

老朽化に伴う施設改修に加え、津波等防災対策は喫緊の課題であるので、防災の観点も踏まえ、私立との共存、子育て支援等の充実を総合的に捉えて計画的に施設を整備する。

Ⅲ 就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画

1 計画の期間

平成27年度から平成36年度までの10年間の計画期間として取り組む。

ただし、計画期間中であっても、子ども・子育て支援法に基づく市の子ども・子育て支援事業計画との整合を図るために、必要がある場合は計画の見直しを検討するものとする。

2 各施設の整備計画

Ⅱに示した公立施設のあり方を踏まえ、現存の公立施設のうち子育て支援センターの併設や多機能化に対応できる施設を存続させることとし、各地域における拠点として整備していく。他の施設については、統合や民間への移譲等により公立施設のスリム化を図る。

この計画に沿って整理・統合をするにあたっては、就学前の教育・保育の質を低下させないこと、待機児童が生じることのないことが前提であり、施設の民間への移譲・運営委託等にあたっての適切な事業者がない場合は、当面公立施設として存続していくこととする。

① 明倫保育所

市中心部に位置し保育需要は安定している。子育て支援センターを併設しており、地域の子育て支援の拠点的役割を担う公立施設として存続させていく。

建物の耐用年限までは相当年数を有するが、築後 30 年を経過しており設備・内装等の老朽化が進んでいることから大規模修繕を行う。

② 浜郷保育所

周辺地域における宅地開発や送迎利便性のよい立地などで保育需要は今後も安定して推移すると思われる。今後は、施設としては存続させ、地域性を考慮しながら民間への移譲・運営委託を行う。

③ 大世古保育所

入所児童数の多い施設ではあるが、平成 27 年には建物の耐用年限を経過することとなり、老朽化による損傷も著しい。公立施設としては廃止することとし、現在地もしくは周辺地において民間の新設に委ねていく。その際には、近距離にある御菌第二保育園も含めて検討する。

④ 保育所きらら館

平成 19 年度に、3 保育所を統合し新築した施設であり、送迎利便性のよい立地であることから保育需要の非常に高い施設である。また、子育て支援センターを併設するとともに、延長・休日保育、一時保育を実施する多機能保育所であり、今後も本市における子育て支援のモデル的役割を果たす施設として公立施設として存続させていく。

⑤ 二見浦保育園

施設規模に対して入所児童数は少ないが、子育て支援センターを併設するなど二見地区の中心的施設である。建物の耐用年限までは相当の年数を有しているが、津波浸水の危険度が高い立地であり、二見地区内の五峰保育園、高城保育園と統合したうえで高台等安全な場所へ移転する。

子育て支援センターを併設し、延長保育等を実施し、二見地区における拠点施設として公立で運営していく。(⑥・⑦と関連)

⑥ 五峰保育園

建物の耐用年限は平成 30 年に到来するが、平成 18 年度に耐震補強を含めた改修工事を行っており、施設は当面維持できる。また、近隣の宅地開発により保育需要が高く、入所児童数は今後も同程度で推移すると思われる。

当施設を民間へ移譲・運営委託することも考えられるが、二見地区内の二見浦保育園・高城保育園の津波災害対策としての高台等への統合移転先としては当施設周辺が適地であることから、当施設も含めて統合することとする。(⑤・⑦と関連)

⑦ 高城保育園

入所児童数の減少が著しい施設であり、今後も入所児童数の増加は見込めないと考えられる。

建物の耐用年限はすでに経過しており施設の老朽化が進んでいる。また、津波浸水の危険度の高い立地でもあることから、二見地区内の二見浦保育園、五峰保育園と統合したうえで高台等安全な場所へ移転する。(⑤・⑥と関連)

⑧ 保育所あけぼの園

保育需要の高い施設であり、建物の耐用年限まで相当の年数を有する施設でもある。同小学校区内にはしらとり園（公立保育所）とあけの保育園（私立保育所）、明野幼稚園（公立幼稚園）があるが、いずれの施設も需要が高い状況である。

今後は、施設としては存続させ、地域性を考慮しながら民間への移譲・運営委託を行う。

⑨ 保育所しらとり園

市内の保育所で唯一2歳児からの保育であり乳児保育に対応できない施設であるが、保育需要の高い施設である。また、建物の耐用年限まで相当の年数を有する施設である。

施設としては存続させ、地域性を考慮しながら民間への移譲・運営委託を行う。

⑩ 保育所ゆりかご園

周辺の大規模宅地開発により保育需要が非常に高い施設であり、建物の耐用年限まで相当の年数を有する施設でもあることから、公立施設として存続させていく。

将来的には小俣幼稚園との統合による認定こども園化も視野に入れ、多様なニーズに対応した小俣地区の拠点的役割を担っていく。

⑪ 御菌第一保育園

送迎利便性がよく保育需要の高い施設である。

延長・休日保育、一時保育を実施するとともに、子育て支援センターを併設することにより多機能化を図り、御菌地区における中心的役割を担う公立施設として存続させていく。

建物の耐用年限までは相当年数を有するが、築後40年以上経過しており設備・内装等の老朽化が進んでいることから大規模修繕を行う。

⑫ 御菌第二保育園

施設規模に対して入所児童数が少ない状況である。

公立施設としては廃止することとし、現在地もしくは周辺地において民間に委ねていく。その際には、近距離にある大世古保育所を含めて検討する。

⑬ しごうこども園

平成 23 年度にあさま保育所と四郷幼稚園を統合し新築した幼保連携型認定こども園である。一時保育の実施、子育て支援センターの併設により地域の子育て支援の拠点的役割を担っている。また、当市における認定こども園の先進的取り組みの実践施設として機能している。

今後は、延長保育を実施することにより多機能化を図るとともに、保幼小の連携等の実践研究施設として公立で存続させていく。

また、発達段階をふまえ、集団での生活の中で社会性や自立の基礎を育むために、短時間部での 3 歳からの幼児教育について平成 28 年度の開始を目指していく。

⑭ 小俣幼稚園

当該地域の保育需要は安定している。多様なニーズに対応した幼児教育の中心的な役割を担い、将来的にはゆりかご園との統合による認定こども園化も視野に入れ、公立施設として存続させていく。また、現行の 4 歳児及び 5 歳児の定員をそれぞれ 70 名から 60 名に減員し、教育環境を整備する。

⑮ 明野幼稚園

毎年各年齢ともに定員に近い入園希望があることから保育需要は安定しており、地域のニーズは高い。民間へ委ねることが基本であるが、土地と建物が三重県所有であるため民間移譲ができず、当面これまでのように借用して公立で存続させていく。

⑯ 神社幼稚園

園児数が減少傾向にある。また、津波浸水による影響を強く受ける立地にあることから廃止することとし、周辺の施設に幼児教育を委ねていく。

⑰ 城田幼稚園

園児数が減少傾向にある。通園バスを備えた民間施設もあることから廃止することとし、周辺の施設に幼児教育を委ねていく。

⑱ その他

現在、休園している公立幼稚園（豊浜西幼稚園、豊浜東幼稚園、北浜幼稚園、沼木幼稚園、早修幼稚園）については廃止する。

IV おわりに

平成 27 年 4 月に子ども・子育て支援新制度が本格施行され、公立施設だけでなく、民間施設も含め市内の幼稚園・保育所等を取り巻く状況が変化していくことが予測されます。

この計画は、子ども・子育て支援新制度を受けての民間施設の動向や、将来人口推計の変化、あるいは今後策定を予定している公共施設等総合管理計画やその他関連計画等との整合を図りながら、適宜本計画を見直し、ニーズに合った整備を進めてまいります。

【公立施設整備計画表】

		現状		整備内容	整備後
保育所	①	明倫保育所	⇒	存続	明倫保育所
	②	浜郷保育所	⇒	民間移譲	(私立) 浜郷保育所
	③	大世古保育所	⇒	廃止	(私立新設)
	④	きらら館	⇒	存続	きらら館
	⑤	二見浦保育園	⇒	統合	(統合保育所)
	⑥	五峰保育園	⇒		
	⑦	高城保育園	⇒		
	⑧	あけぼの園	⇒	民間移譲	(私立) あけぼの園
	⑨	しらとり園	⇒	民間移譲	(私立) しらとり園
	⑩	ゆりかご園	⇒	存続	ゆりかご園
	⑪	御蔭第一保育園	⇒	存続	御蔭第一保育園
	⑫	御蔭第二保育園	⇒	廃止または民間移譲	(私立新設) または (私立) 御蔭第二保育園
	⑬	しごうこども園 (保)	⇒	存続	しごうこども園 (保)
幼稚園	⑬	しごうこども園 (幼)	⇒	存続	しごうこども園 (幼)
	⑭	小俣幼稚園	⇒	存続	小俣幼稚園
	⑮	明野幼稚園	⇒	存続	明野幼稚園
	⑯	神社幼稚園	⇒	廃止	
	⑰	城田幼稚園	⇒	廃止	
	⑱	豊浜西幼稚園 (休園中)	⇒	廃止	
		豊浜東幼稚園 (休園中)	⇒	廃止	
		北浜幼稚園 (休園中)	⇒	廃止	
沼木幼稚園 (休園中)		⇒	廃止		
	早修幼稚園 (休園中)	⇒	廃止		
保育所	13		保育所	6	
幼稚園	10		幼稚園	3	

※丸数字はP3～P6に記載の各施設の番号

※しごうこども園については、幼稚園・保育所の両方に計上

【各施設の入園状況】

	施設名	公立 私立	定員	所在地	入所児童数		充足率 (H26)
					H21	H26	
幼稚園	神社幼稚園	公	50	神社港	37	18	36.0%
	城田幼稚園	公	50	上地町	26	15	30.0%
	小俣幼稚園	公	200	小俣町本町	141	153	76.5%
	明野幼稚園	公	70	小俣町明野	68	61	87.1%
	しごうこども園（幼）	公	30	一字田町	-	8	26.7%
	有緝幼稚園	私	280	船江2丁目	121	124	44.3%
	中島幼稚園	私	200	中島2丁目	65	47	23.5%
	明倫幼稚園	私	210	岡本1丁目	76	75	35.7%
	常盤幼稚園	私	100	岩淵1丁目	24	28	28.0%
	まるこ幼稚園	私	120	一之木1丁目	51	57	47.5%
	神宮高倉山幼稚園	私	180	八日市場町	56	53	29.4%
	神宮五十鈴川幼稚園	私	200	宇治中之切町	76	36	18.0%
	双康幼稚園	私	180	黒瀬町	119	103	57.2%
	ゆたか幼稚園	私	320	御菌町王中島	278	261	81.6%
	修道こども園（幼）	私	60	楠部町	59	49	81.7%
	和順こども園（幼）	私	192	小俣町元町	133	43	22.4%
暁の星こども園（幼）	私	200	小俣町本町	116	145	72.5%	
保育所	明倫保育所	公	90	吹上2丁目	79	78	86.7%
	浜郷保育所	公	120	黒瀬町	117	94	78.3%
	大世古保育所	公	150	大世古4丁目	151	116	77.3%
	保育所きらら館	公	60	常磐2丁目	75	75	125.0%
	二見浦保育園	公	200	二見町荘	152	117	58.5%
	五峰保育園	公	100	二見町山田原	110	86	86.0%
	高城保育園	公	60	二見町今一色	47	36	60.0%
	保育所あけぼの園	公	100	小俣町明野	121	116	116.0%
	保育所しらとり園	公	60	小俣町湯田	70	58	96.7%
	保育所ゆりかご園	公	120	小俣町本町	150	151	125.8%
	御菌第一保育園	公	180	御菌町長屋	172	171	95.0%
	御菌第二保育園	公	150	御菌町高向	94	81	54.0%
	しごうこども園（保）	公	70	一字田町	-	95	135.7%
	大湊保育園	私	70	大湊町	83	49	70.0%
	一色保育園	私	120	一色町	133	127	105.8%
	村松保育園	私	45	村松町	32	51	113.3%
船江保育園	私	90	船江3丁目	71	85	94.4%	
たけのこ保育園	私	100	常磐町	100	102	102.0%	

マリア保育園	私	120	岡本1丁目	125	121	100.8%
東大淀保育園	私	70	東大淀町	73	52	74.3%
豊浜西保育所	私	120	磯町	143	140	116.7%
みどり保育園	私	60	矢持町	28	32	53.3%
有滝保育園	私	60	有滝町	46	35	58.3%
中須保育園	私	100	中須町	108	108	108.0%
佐八保育園	私	60	佐八町	76	64	106.7%
みややま保育園	私	90	旭町	101	99	110.0%
なかよし保育所	私	45	勢田町	50	47	104.4%
えがお保育園	私	60	小俣町元町	-	69	115.0%
あけの保育園	私	90	小俣町新村	-	108	120.0%
修道こども園(保)	私	83	楠部町	-	102	122.9%
和順こども園(保)	私	24	小俣町元町	-	66	275.0%
暁の星こども園(保)	私	60	小俣町本町	-	50	83.3%

※ 入所児童数については、各年度とも5月1日時点

【各公立施設の建築年等】

	施設名	所在地	建築年	構造	耐用年限
幼稚園	神社幼稚園	神社港	平成3年	鉄筋コンクリート造	平成63年
	城田幼稚園	上地町	昭和58年	鉄筋コンクリート造	平成55年
	小俣幼稚園	小俣町本町	昭和54年	鉄筋コンクリート造	平成51年
	明野幼稚園	小俣町明野	昭和46年	鉄筋コンクリート造	平成43年
保育所	明倫保育所	吹上2丁目	昭和58年	鉄筋コンクリート造	平成60年
	浜郷保育所	黒瀬町	昭和56年	鉄筋コンクリート造	平成58年
	大世古保育所	大世古4丁目	昭和50年	鉄骨造	平成27年
	保育所きらら館	常磐2丁目	平成19年	鉄骨造	平成53年
	二見浦保育園	二見町荘	昭和57年	鉄筋コンクリート造	平成59年
	五峰保育園	二見町山田原	昭和53年	鉄骨造	平成30年
	高城保育園	二見町今一色	昭和46年	鉄骨造	平成23年
	保育所あけぼの園	小俣町明野	昭和51年	鉄筋コンクリート造	平成53年
	保育所しらとり園	小俣町湯田	昭和52年	鉄筋コンクリート造	平成54年
	保育所ゆりかご園	小俣町本町	昭和50年	鉄筋コンクリート造	平成52年
	御菌第一保育園	御菌町長屋	昭和47年	鉄筋コンクリート造	平成49年
	御菌第二保育園	御菌町高向	昭和48年	鉄筋コンクリート造	平成50年
	しごうこども園	一字田町	平成23年	鉄骨造	平成57年

伊勢市管内

保育所
幼稚園
認定こども園

位置図



- 公立保育所
- 私立保育所
- 公立幼稚園
- 私立幼稚園
- ▲ 公立認定こども園
- ▲ 私立認定こども園

